

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	積載荷重小委員会	主 査 名：山村一繁 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：河井宏允
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・積載荷重について、合理的な設計のための基礎資料や考え方を体系的にまとめ、建築設計に貢献する。 ・積載荷重に関する、高度な工学モデルの構築。 ・積載荷重の説明性に関する研究。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	山村一繁 (首都大), 石川孝重 (日本女子大), 岩原昭次 (崇城大), 太田博章 (竹中工務店), 高橋徹 (千葉大), 寺田隆一 (日建設計), 久木章江 (文化女子大), 横山裕 (東工大)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2010 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s23/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「建築物荷重指針・同解説」改定に向け、基本的な考え方の整理を行い、目次案を示すことができた。 2. 積載荷重の視覚化について、色や明度による重量の表現が可能であることを示すことができた。 3. 信頼性指標 β に関する研究成果をまとめ、安全性の現状を評価することができた。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページの更新が十分でなかった。 2. 各委員のスケジュール調整がうまくゆかず、開催回数が少なかった。